

MicroPatent® PatSearch Fulltext: Record 1 of 1

Search scope: JP (bibliographic data only)

Years: 1971-2005

Patent/Publication No.: ((JP2001190871))

[Order This Patent](#)

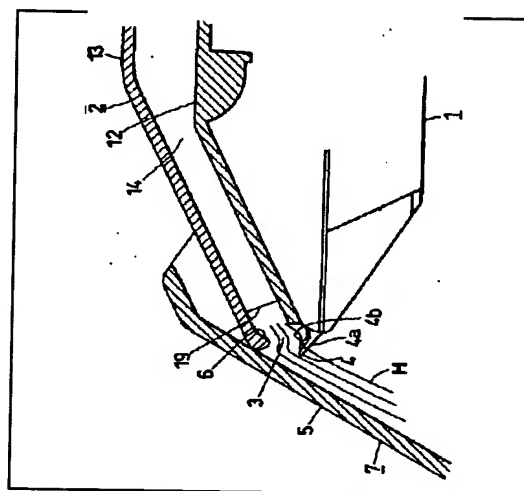
[Family Lookup](#)

[Find Similar](#)

[Legal Status](#)

[Go to first matching text](#)

JP2001190871 A



[Click here for larger image.](#)

HAIR CLIPPERS WITH HAIR SUCTION FUNCTION MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a hair clippers with a hair suction function excellent in its cutting efficiency by surely cutting raised hair with a cutting edge. **SOLUTION:** In this hair clippers with a hair suction function, wherein a sucked hair case 2 is provided at a body of hair clippers 1 and a suction inlet 3 of the case 2 is positioned in the vicinity pf a cutting edge 4 of the body 1, a suction opening 3 is formed in a close manner at the tip in the cutting direction of an cutting edge 4, a guide cover 5 is provided on an outer edge of the opening 3 at the tip in the cutting direction so as to protrude therefrom, and a protrusion 6 is provided in an inner surface in the tip in the cutting direction in the vicinity of the opening 3 so as to protrude toward the edge 4.

Inventor(s):

FUJIWARA MITSURU

Application No. 2000005157 JP2000005157 JP, **Filed** 20000114, **A1 Published** 20010717

Int'l Class: B26B01944
B26B01924

Patents Citing This One No US, EP, or WO patent/search reports have cited this patent.



For further information, please contact:

[Technical Support](#) | [Billing](#) | [Sales](#) | [General Information](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-190871
(P2001-190871A)

(43) 公開日 平成13年7月17日 (2001.7.17)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
B 2 6 B 19/44		B 2 6 B 19/44	B 3 C 0 5 6
19/24		19/24	

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2000-5157(P2000-5157)
(22) 出願日	平成12年1月14日 (2000.1.14)

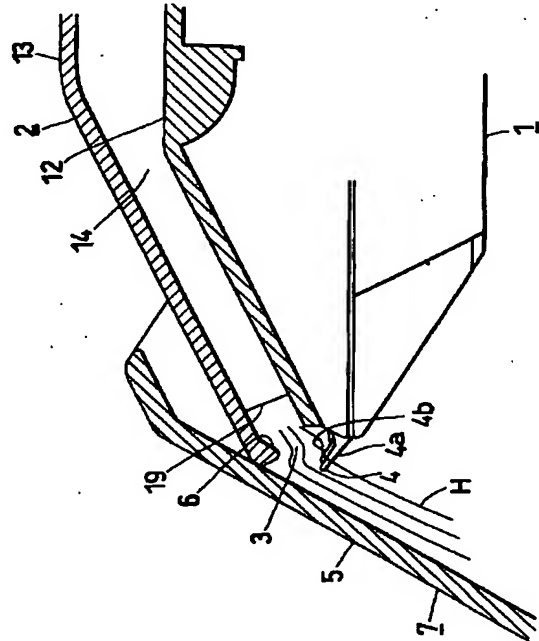
(71) 出願人	00005832 松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地
(72) 発明者	藤原 充 大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内
(74) 代理人	100111556 弁理士 安藤 淳二 (外1名)
Fターム(参考)	3C056 CA36 CA42 JE03 KK02 LL05 LL09 LL37

(54) 【発明の名称】 吸毛機能付バリカン

(57) 【要約】

【課題】 起毛された毛が切断刃で確実に切断されて、切断効率の良い吸毛機能付バリカンを提供する。

【解決手段】 バリカン本体1に吸毛ケース2を付設し、吸毛ケース2の吸引口3を切断刃4に近接配置してなる吸毛機能付バリカンにおいて、吸引口3を切断刃4の刈り込み方向先側に近接配置し、吸引口3の刈り込み方向先側の外縁部分にガイドカバー5を突出延設し、吸引口3付近の刈り込み方向先側内面に切断刃4へ向かって突出する凸条6を突設した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 バリカン本体に吸毛ケースを付設し、該吸毛ケースの吸引口を同バリカン本体の切断刃に近接配置してなる吸毛機能付バリカンであって、吸引口を切断刃の刈り込み方向先側に近接配置し、該吸引口の刈り込み方向先側の外縁部分に、同吸引口へと流れ込む空気をガイドすると共に起毛させるガイドカバーを突出延設し、該吸引口付近の刈り込み方向先側内面に同切断刃へ向かって突出する凸条を該切断刃に対応させて突設してなる吸毛機能付バリカン。

【請求項2】 バリカン本体に吸毛ケースを着脱自在に嵌着して付設したことを特徴とする請求項1記載の吸毛機能付バリカン。

【請求項3】 切断刃及び吸引口の外側を覆うように嵌着されて、皮膚と同切断刃との間に間隔が保持されるようになす略筒状のアタッチメントを備え、該アタッチメントの刈り込み方向先側の周壁部分をガイドカバーとし、同吸引口の口縁に沿った内面に凸条を突設して、該凸条を同切断刃よりも奥方に位置させたことを特徴とする請求項1又は2記載の吸毛機能付バリカン。

【請求項4】 皮膚と切断刃との間隔寸法が可変となるようアタッチメントを嵌着深さ調節自在に嵌着したことを特徴とする請求項3記載の吸毛機能付バリカン。

【請求項5】 アタッチメントの刈り込み方向先側の先端縁部分にくし刃状片を有する切欠状開口部を形成したことを特徴とする請求項3又は4記載の吸毛機能付バリカン。

【請求項6】 吸引口を切断刃に沿って偏平な略長方形に形成したことを特徴とする請求項1～5のいずれか一つに記載の吸毛機能付バリカン。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、毛や毛屑を吸引しながら同毛を刈り込むもので、特に、犬や猫等のペット用として最適な吸毛機能付バリカンに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来から、毛や毛屑を吸引しながら同毛を切断して、一定の長さとなるように刈り込むことのできるペット用の吸毛機能付バリカンは知られている。この種の吸毛機能付バリカンとしては、例えば、図11に示す如く、バリカン本体1に吸毛ケース2を付設し、該吸毛ケース2の吸引口3を同バリカン本体1の切断刃4に近接配置してなるものがあった。この場合、吸引口3は切断刃4の刈り込み方向先側に近接配置され、該吸引口3の刈り込み方向先側の外縁部分に、同吸引口3へと流れ込む空気をガイドすると共に起毛させるガイドカバー5が突出延設されている。

【0003】したがって、該吸毛機能付バリカンにおいては、切断刃4の刈り込み方向先側に位置する吸引口3

での吸引作用によって、切断されるべき毛Hが予め起毛される。その際、空気はガイドカバー5の内面に沿って吸引口3へとスムーズに流れ込み、該空気が流れる力によって、切断されるべき毛Hは確実に起毛される。この起毛された状態にある毛Hは切断刃4で切断されて、一定の長さとなるように刈り込まれる。ここでは、ガイドカバー5の先端縁を皮膚に沿って移動させることで、該皮膚と切断刃4との間隔寸法が一定に保持され、毛Hは同切断刃4によって一定の長さとなるように切断される。しかも、切断された毛屑は吸引口3から吸い込まれ、周辺に散乱しないように吸毛ケース2内へと吸引除去される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の技術において、切断されるべき毛Hを確実に起毛させるためには、吸引口3での風路面積と吸入風量とが必要であり、これ等を確保するのに、切断刃4を同吸引口3へとあまり大きくは侵入突出させることができないでいる。それ故、ガイドカバー5の内面に沿って空気の流れと共に起毛される毛Hが、切断刃4とは反対側へ偏って該切断刃4から離れてしまい、せっかく起毛されたにも係わらず、切断効率が良くないという問題を生じていた。

【0005】本発明は、上記従来の技術における問題を悉く解決するために発明されたもので、その課題は、起毛された毛が切断刃で確実に切断されて、切断効率の良好な吸毛機能付バリカンを提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1記載の吸毛機能付バリカンは、バリカン本体に吸毛ケースを付設し、該吸毛ケースの吸引口を同バリカン本体の切断刃に近接配置してなる吸毛機能付バリカンであって、吸引口を切断刃の刈り込み方向先側に近接配置し、該吸引口の刈り込み方向先側の外縁部分に、同吸引口へと流れ込む空気をガイドすると共に起毛させるガイドカバーを突出延設し、該吸引口付近の刈り込み方向先側内面に同切断刃へ向かって突出する凸条を該切断刃に対応させて突設してなる。

【0007】したがって、この場合、吸毛ケースの吸引口がバリカン本体の切断刃の刈り込み方向先側に近接配置されているので、該切断刃付近で切断されるべき毛が、同吸引口での吸引作用によって予め起毛される。その際、吸引口の刈り込み方向先側の外縁部分に、該吸引口へと流れ込む空気をガイドすると共に起毛させるガイドカバーが突出延設されているので、該ガイドカバーの内面に沿って空気は吸引口へとスムーズに流れ込み、該空気が流れる力によって、切断されるべき毛は同ガイドカバーの内面に沿って確実に起毛される。この起毛された状態にある毛は切断刃で切断されて、一定の長さとなるよう適切に刈り込まれる。

【0008】しかも、吸引口付近の刈り込み方向先側内面に、切断刃へ向かって突出する凸条が該切断刃に対応して突設されているので、前記ガイドカバーの内面に沿ってガイドされながら流れる空気は、同凸条に当たることによってその流れの向きが部分的に同切断刃の側へ変化されて同吸引口内へと吸入される。ここでは、空気の流れと共に起毛される毛も、凸条と対応する部分で切断刃の側へ近づきよう部分的に折曲した状態で起毛される。そのため、この起毛された状態にある毛は、空気が流れる力で切断刃の側へ押し曲げられたような状態となり、該切断刃で確実に切断されて切断効率は向上される。そして、切断された毛屑は吸引口から吸い込まれ、周辺に散乱しないように吸毛ケース内へと吸引除去される。

【0009】本発明の請求項2記載の吸毛機能付バリカンには、上記請求項1記載の吸毛機能付バリカンにおいて、バリカン本体に吸毛ケースを着脱自在に嵌着して付設したことを特徴とする。

【0010】したがって、この場合は特に、バリカン本体に吸毛ケースが着脱自在に嵌着されるので、該吸毛ケースの付設は簡単に行われる。しかも、吸毛ケースをバリカン本体から取り外すことで、両者を分割して取り扱うことができる。又、屋外等で毛屑を吸引除去する必要がない際には、吸毛ケースが取り外されたバリカン本体のみを使用して刈り込み作業を行うこともできる。

【0011】本発明の請求項3記載の吸毛機能付バリカンには、上記請求項1又は2記載の吸毛機能付バリカンにおいて、切断刃及び吸引口の外側を覆うように嵌着されて、皮膚と同切断刃との間に間隔が保持されるようになす略筒状のアタッチメントを備え、該アタッチメントの刈り込み方向先側の周壁部分をガイドカバーとし、同吸引口の口縁に沿った内面に凸条を突設して、該凸条を同切断刃よりも奥方に位置させたことを特徴とする。

【0012】したがって、この場合は特に、アタッチメントを嵌着させた状態で刈り込み作業を行うことにより、その際、皮膚と切断刃との間に間隔が保持されて、該間隔寸法に応じた所定の長さとなるように、毛を長く残して安全に切断することができる。ここでは、アタッチメントの刈り込み方向先側の周壁部分がガイドカバーとなり、同アタッチメントの先端縁を皮膚に沿って移動させることで、該皮膚と切断刃との間隔寸法が一定に保持され、毛は同切断刃によって所定の長さとなるように切断される。

【0013】更には、吸引口の口縁に沿った内面に凸条が突設されていて、該凸条は切断刃よりも奥方に位置するので、起毛された毛が同切断刃よりも奥方で押し曲げられたような状態となって、該切断刃でより確実に切断される。しかも、凸条と切断刃との位置が相互にずれていることで、吸引口での風路面積や吸入風量は十分に確保されて、切断されるべき毛がより確実に起毛される。又、アタッチメントを取り外した状態でも、刈り込み作

業を行うことができ、その際にも、吸引口の口縁に沿った内面に凸条は存在し、起毛された毛が切断刃で確実に切断される。

【0014】本発明の請求項4記載の吸毛機能付バリカンは、上記請求項3記載の吸毛機能付バリカンにおいて、皮膚と切断刃との間隔寸法が可変となるようアタッチメントを嵌着深さ調節自在に嵌着したことを特徴とする。

【0015】したがって、この場合は特に、アタッチメントの嵌着深さを変更調節することによって、皮膚と切断刃との間隔寸法を変化させることができ、これにより、刈り込み高さを変化調整することができるので、所望の長さとなるように毛を切断することができる。しかも、アタッチメントの嵌着深さがいずれの位置にあっても、上記の如く、吸引口の口縁に沿った内面の定位置に凸条は存在し、起毛された毛が切断刃で確実に切断される。

【0016】本発明の請求項5記載の吸毛機能付バリカンは、上記請求項3又は4記載の吸毛機能付バリカンにおいて、アタッチメントの刈り込み方向先側の先端縁部分にくし刃状片を有する切欠状開口部を形成したことを特徴とする。

【0017】したがって、この場合は特に、アタッチメントの刈り込み方向先側の先端縁部分にくし刃状片を有する切欠状開口部が形成されているので、該切欠状開口部から同アタッチメント内へと毛はガイドされて効率良く導入され、起毛も確実に行われて、スムーズでより切断効率の良好な刈り込み作業を行うことができる。しかも、くし刃状片の存在によって皮膚が切欠状開口部内に入り込むことは防止され、該皮膚と切断刃との間隔寸法が確保されて、毛を同間隔寸法に応じた所定の長さとなるよう正確に切断することができる。

【0018】本発明の請求項6記載の吸毛機能付バリカンは、上記請求項1～5のいずれか一つに記載の吸毛機能付バリカンにおいて、吸引口を切断刃に沿って偏平な略長方形に形成したことを特徴とする。

【0019】したがって、この場合は特に、切断刃に沿って偏平な略長方形に吸引口が形成されているので、該吸引口における風路面積や風速は同切断刃に沿ったいずれの部位でも均等に確保され、吸引効率が良好となって切断されるべき毛はより確実に起毛される。

【0020】

【発明の実施の形態】図1～10は、本発明の請求項1～6全てに対応する一実施形態を示し、該実施形態の吸毛機能付バリカンは、犬や猫等のペット用として最適に使用することができるもので、バリカン本体1に吸毛ケース2を付設し、該吸毛ケース2の吸引口3を同バリカン本体1の切断刃4に近接配置してなるものであって、吸引口3を切断刃4の刈り込み方向先側に近接配置し、該吸引口3の刈り込み方向先側の外縁部分に、同吸引口

3へと流れ込む空気をガイドすると共に起毛させるガイドカバー5を突出延設し、該吸引口3付近の刈り込み方向先側内面に同切断刃4へ向かって突出する凸条6を該切断刃4に対応させて突設してなる。

【0021】該実施形態の吸毛機能付バリカンにおいては、バリカン本体1に吸毛ケース2を着脱自在に嵌着して付設している。又、切断刃4及び吸引口3の外側を覆うように嵌着されて、皮膚Sと同切断刃4との間に間隔が保持されるようになす略筒状のアタッチメント7を備え、該アタッチメント7の刈り込み方向先側の周壁部分をガイドカバー5としている。

【0022】この場合、吸引口3の口縁に沿った内面に凸条6を突設して、該凸条6を切断刃4よりも奥方に位置させている。又、皮膚Sと切断刃4との間隔寸法が可変となるように、アタッチメント7を嵌着深さ調節自在に嵌着している。更には、アタッチメント7の刈り込み方向先側の先端縁部分に、くし刃状片8を有する切欠状開口部9を形成し、吸引口3を切断刃4に沿って偏平な略長方形に形成してもいる。

【0023】図4に示す如く、バリカン本体1はその先端部分に切断刃4が設けられ、該切断刃4は下側の固定刃4aと上側の可動刃4bとでなる。バリカン本体1の側面には電源スイッチ10が設けられ、底面には接続端子11が設けられており、該接続端子11に電気コード（図示せず）が嵌合接続されて、同バリカン本体1に電源供給される。そして、電源スイッチ10をON操作することにより、切断刃4では可動刃4bが往復動して固定刃4aとの間で毛をはさみ切りする。

【0024】図5、6に示す如く、吸毛ケース2は下側ケース12と上側ケース13とが嵌合一体化されてなり、同下側ケース12と上側ケース13との間には、前後方向に貫通する吸引通気路14が形成され、該吸引通気路14の前端開口は偏平状の吸引口3となる。下側ケース12の後端部分には、前記吸引通気路14の後端開口となる略円筒状の接続口15が形成されており、該接続口15の前側には上側ケース13の後端部分が係止され、同接続口15は吸引装置（図示せず）へと後側に連通接続される。

【0025】又、下側ケース12の両側には上記バリカン本体1を嵌合保持する側片部16が配設されており、一方の該側片部16には同バリカン本体1の電源スイッチ10を露出させる凹状開口17が形成されている。更に、両方の側片部16の前端付近の外面には、後述のアタッチメント7を着脱自在に嵌着させるための凸リブ18が配設形成されている。又、吸引口3の両側には逃がし口部19が配設形成されており、該逃がし口部19は切欠凹状で、上側ケース13の両側壁部分の前端縁に切欠されて凹んだような形状として形成されている。

【0026】そして、図7、8に示す如く、吸毛ケース2がバリカン本体1に取り付けられると、吸引口3は同バリカン本体1の切断刃4の刈り込み方向先側となる上

側に近接配置され、又、電源スイッチ10が凹状開口17から露出される。アタッチメント7が取り付けられていないこのような状態でも、刈り込み作業を行うことは可能である。このような使用状態の場合には、柔らかい皮膚であっても該皮膚が吸引口3に吸着することはなく、スムーズで且つ安全な刈り込み作業を行うことができる。

【0027】すなわち、前記逃がし口部19は吸引口3の内部が真空になるのを防ぐ逃げとして作用し、該吸引口3への皮膚の吸着は防止される。その際、空気は逃がし口部19から吸入されて、吸引口3内で起毛が支障なく行われる。それ故、スムーズに刈り込み作業を行うことができる。しかも、皮膚の吸着がなくなると共に、切断刃4を有するバリカン本体1を移動させ易くなって、該切断刃4は同位置で動作し続けることもなく、同皮膚を傷つけてしまうことがなくて安全である。このようなことは、特に、犬や猫の腹部の乳首付近やあご下等の皮膚の柔らかい部位を刈り込む際に有用となる。

【0028】又、アタッチメント7は上下に開口連通した断面略四角形の略筒状であり、その後側壁上部及び前側壁下部が各々切欠状に開口されている。そして、アタッチメント7の上方開口と後側壁上部の切欠状開口とが連続した開口を形成し、該開口から同アタッチメント7内にバリカン本体1及び吸毛ケース2の先端部分は挿入嵌合される。アタッチメント7の後側壁上部の切欠状開口付近で、該アタッチメント7の両側壁内面には、上下複数段の凹溝20が並設形成されている。

【0029】この場合、上下いずれかの凹溝20を選択して、吸毛ケース2の前端付近の外面に形成された前記凸リブ18に、同選択した凹溝20に係合させることによって、アタッチメント7の嵌着深さが変更調節される。ここでは、図2、9、10に示す如く、アタッチメント7の嵌着深さが三段階に変更調節され、いずれの嵌着深さにあっても同アタッチメント7の両側壁によって、前記逃がし口部19は必然的に閉塞される。それ故、逃がし口部19から空気が吸引されることはなく、アタッチメント7の先端開口部分から確実に空気が吸引されて、高い吸引効率を確保することができる。

【0030】又、アタッチメント7の前記後側壁上部の切欠状開口では、バリカン本体1との間に隙間開口を形成しているが、該隙間開口はカバー21で閉塞される。カバー21は開閉自在であり、前記切欠状開口の下縁両側に配設されるヒンジ22を介して枢支されている。両側のヒンジ22にはねじりバネ23が配設されており、該ねじりバネ23によってカバー21は後側閉じ方向へ弾発付勢されている。それ故、この場合には、図2、9、10に示す如く、アタッチメント7の嵌着深さがどの位置にあっても、該嵌着部位における前記隙間開口はカバー21で確実に閉塞されて、前記高い吸引効率が確保される。

【0031】図3に示す如く、アタッチメント7の刈り込み方向先側（ガイドカバー5）の先端縁部分に形成さ

れる切欠状開口部 9 は、同アタッチメント 7 の前記前側壁下部が切欠状に開口されたものである。又、図 2 に示す如く、アタッチメント 7 の両側壁先端縁は R 形状に突出形成されており、該 R 形状の曲率中心が切断刃 4 の位置に略合致されている。それ故、アタッチメント 7 の両側壁先端縁は皮膚 S に対し滑らかに摺接し、スムーズに刈り込み作業を行うことができ、しかも、アタッチメント 7 と皮膚 S との相対角度が変化しても、該皮膚 S と切断刃 4 との間隔寸法は確保されて、毛を同間隔寸法に応じた所定の長さとなるよう正確に切断することができる。

【0032】したがって、該実施形態の吸毛機能付バリカンにおいては、吸毛ケース 2 の吸引口 3 がバリカン本体 1 の切断刃 4 の刈り込み方向先側に近接配置されているので、図 1 に示す如く、該切断刃 4 付近で切断されるべき毛 H が、同吸引口 3 での吸引作用によって予め起毛される。その際、吸引口 3 の刈り込み方向先側の外縁部分に、該吸引口 3 へと流れ込む空気をガイドすると共に起毛させるガイドカバー 5 が突出延設されているので、該ガイドカバー 5 の内面に沿って空気は吸引口 3 へとスムーズに流れ込み、該空気が流れる力によって、切断されるべき毛 H は同ガイドカバー 5 の内面に沿って確実に起毛される。この起毛された状態にある毛 H は切断刃 4 で切断されて、一定の長さとなるよう適切に刈り込まれる。

【0033】しかも、吸引口 3 付近の刈り込み方向先側内面に、切断刃 4 へ向かって突出する凸条 6 が該切断刃 4 に対応して突設されているので、図 1 に示す如く、前記ガイドカバー 5 の内面に沿ってガイドされながら流れる空気は、同凸条 6 に当たることでその流れの向きが部分的に同切断刃 4 の側へ変化されて同吸引口 3 内へと吸入される。ここでは、空気の流れと共に起毛される毛 H も、凸条 6 と対応する部分で切断刃 4 の側へ近づくよう部分的に折曲した状態で起毛される。そのために、この起毛された状態にある毛 H は、空気が流れる力で切断刃 4 の側へ押し曲げられたような状態となり、該切断刃 4 で確実に切断されて切断効率は向上される。そして、切断された毛屑は吸引口 3 から吸い込まれ、周辺に散乱しないように吸毛ケース 2 内へと吸引除去される。

【0034】又、該実施形態の吸毛機能付バリカンにおいては、バリカン本体 1 に吸毛ケース 2 が着脱自在に装着されるので、該吸毛ケース 2 の付設取り付け作業は簡単に行われる。しかも、吸毛ケース 2 をバリカン本体 1 から取り外すことで、両者を分割しコンパクトにして梱包することができる。又、屋外等で毛屑を吸引除去する必要がある際には、吸引装置等が付随して接続される吸毛ケース 2 を取り外した状態とし、小型となるバリカン本体 1 のみを使用して刈り込み作業を行うこともでき、使い勝手は良好で便利である。

【0035】又、該実施形態の吸毛機能付バリカンにお

いては、アタッチメント 7 を嵌着させた状態で刈り込み作業を行うことにより、その際に、皮膚 S と切断刃 4 との間に間隔が保持されて、該間隔寸法に応じた所定の長さとなるように、毛を比較的長く残して安全に切断することができる。ここでは、アタッチメント 7 の刈り込み方向先側の周壁部分がガイドカバー 5 となり、同アタッチメント 7 の先端縁を皮膚 S に沿って移動させることで、該皮膚 S と切断刃 4 との間隔寸法が一定に保持され、毛は同切断刃 4 によって所定の長さとなるように切断される。

【0036】更には、吸引口 3 の口縁に沿った内面に凸条 6 が突設されていて、該凸条 6 は切断刃 4 よりも奥方に位置するので、図 1 に示す如く、起毛された毛 H が同切断刃 4 よりも奥方で空気の流れる力により押し曲げられたような状態となって、該切断刃 4 でより確実に切断される。しかも、凸条 6 と切断刃 4 との位置が相互にずれていることで、吸引口 3 での風路面積や吸入風量は十分に確保されて、切断されるべき毛 H がより確実に起毛される。又、アタッチメント 7 を取り外した状態でも、刈り込み作業を行うことができるもので、その際にあっても、吸引口 3 の口縁に沿った内面に凸条 6 は存在し、起毛された毛が切断刃 4 で確実に切断される。

【0037】又、該実施形態の吸毛機能付バリカンにおいては、アタッチメント 7 の嵌着深さを変更調節することによって、皮膚 S と切断刃 4 との間隔寸法を変化させることができる。これにより、刈り込み高さを適宜選択して変化調整し得るため、所望の長さとなるように毛を適切に切断することができる。しかも、アタッチメント 7 の嵌着深さがどの位置にある使用状態でも、前記の如く、凸条 6 は吸引口 3 の口縁に沿った内面の定位置に存在するので、起毛された毛が切断刃 4 で確実に切断される。

【0038】又、該実施形態の吸毛機能付バリカンにおいては、アタッチメント 7 の刈り込み方向先側（ガイドカバー 5）の先端縁部分に、くし刃状片 8 を有する切欠状開口部 9 が形成されているので、該切欠状開口部 9 から同アタッチメント 7 内へと毛はほぐされながらガイドされて効率良く導入され、これにより起毛も確実に行われて、スムーズでより切断効率の良好な刈り込み作業を行うことができる。しかも、くし刃状片 8 の存在によって皮膚 S が切欠状開口部 9 内に入り込まなくなり、該皮膚 S と切断刃 4 との間隔寸法は均一に確保されて、毛を同間隔寸法に応じた所定の長さとなるよう正確に揃えて切断することができる。更には、吸引口 3 が切断刃 4 の略全長に沿う扁平な略長方形に形成されているので、該吸引口 3 における風路面積や風速は同切断刃 4 に沿ったいずれの部位でも均等に確保され、吸引効率が良好となって切断されるべき毛はより確実に起毛される。

【0039】

【発明の効果】 上述の如く、本発明の請求項 1 記載の吸

毛機能付バリカンにおいては、ガイドカバーの内面に沿って空気が吸引口へとスムーズに流れ込み、切断される毛は同ガイドカバーの内面に沿って予め確実に起毛され、該起毛された状態にある毛が切断刃で切断されて、一定の長さとなるよう適切に刈り込まれる。その際、空気は凸条に当たることでその流れの向きが部分的に切断刃の側へ変化され、起毛される毛は同切断刃の側へ近づくよう部分的に折曲した状態で確実に切断されて切断効率が向上する。

【0040】又、本発明の請求項2記載の吸毛機能付バリカンにおいては、特に、吸毛ケースの付設が嵌着によって簡単に行われ、しかも、該吸毛ケースをバリカン本体から取り外すことで、コンパクトに梱包することができ、同バリカン本体のみで刈り込み作業を行うこともできて便利である。

【0041】又、本発明の請求項3記載の吸毛機能付バリカンにおいては、特に、アタッチメントを嵌着させて刈り込み作業を行うことで、毛を所定の長さとなるよう安全に切断することができる。その際、起毛された毛は切断刃よりも奥方で押し曲げられたような状態となつて、該切断刃でより確実に切断され、しかも、吸引口での風路面積や吸入風量が十分に確保されて、切断されるべき毛はより確実に起毛される。又、アタッチメントを取り外しても刈り込み作業を行うことができ、その際にも、起毛された毛は切断刃で確実に切断される。

【0042】又、本発明の請求項4記載の吸毛機能付バリカンにおいては、特に、アタッチメントの嵌着深さを調節して刈り込み高さを変化調整することで、所望の長さとなるように毛を切断することができ、その際、同アタッチメントの嵌着深さがどの位置にあっても、上記凸条は定位置に存在し、起毛された毛が切断刃で確実に切断される。

【0043】又、本発明の請求項5記載の吸毛機能付バリカンにおいては、特に、毛がガイドされて効率良く導入され、起毛も確実に行われて、スムーズでより切断効率の高い刈り込み作業を行うことができ、その際、くし刃状片によって皮膚と切断刃との間隔寸法が確保されて、同毛は所定の長さとなるよう正確に切断される。

【0044】又、本発明の請求項6記載の吸毛機能付バリカンにおいては、特に、吸引口が切断刃に沿って偏平

な略長方形状に吸引口が形成されており、該吸引口における風路面積や風速は同切断刃に沿ったいずれの部位でも均等に確保され、吸引効率が良好となって切断されるべき毛はより確実に起毛される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態である吸毛機能付バリカンの要部を示す断面図。

【図2】同吸毛機能付バリカンの使用状態を示す側面図。

【図3】同使用状態における要部を示す正面図。

【図4】同吸毛機能付バリカンにおけるバリカン本体を示し、(a)は平面図、(b)は側面図、(c)は底面図。

【図5】同吸毛機能付バリカンにおける吸毛ケースを示し、(a)は平面図、(b)は側面図、(c)は底面図。

【図6】図5(a)におけるX-X断面図。

【図7】同吸毛機能付バリカンにおいてアタッチメントが取り外された状態での要部を示す斜視図。

【図8】同吸毛機能付バリカンにおいてアタッチメントが取り外された状態での全体を示し、(a)は側面図、(b)は底面図。

【図9】同吸毛機能付バリカンの異なる使用状態を示す側面図。

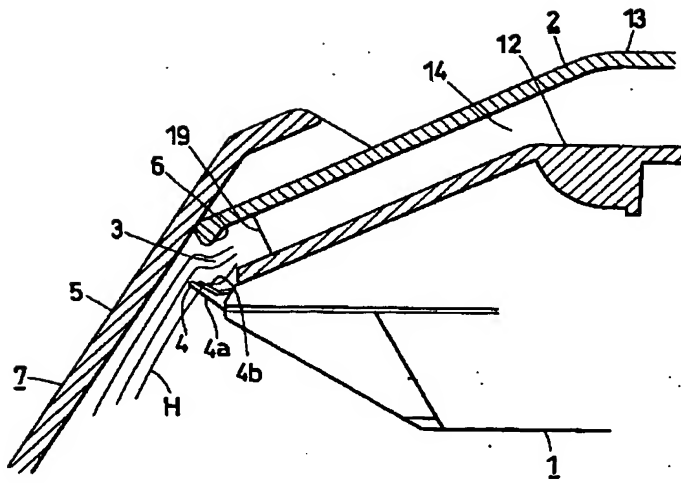
【図10】同吸毛機能付バリカンの更に異なる使用状態を示す側面図。

【図11】従来例である吸毛機能付バリカンの要部を示す断面図。

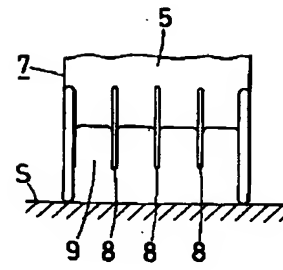
【符号の説明】

- 1 バリカン本体
- 2 吸毛ケース
- 3 吸引口
- 4 切断刃
- 5 ガイドカバー
- 6 凸条
- 7 アタッチメント
- 8 くし刃状片
- 9 切欠状開口部
- H 毛
- S 皮膚

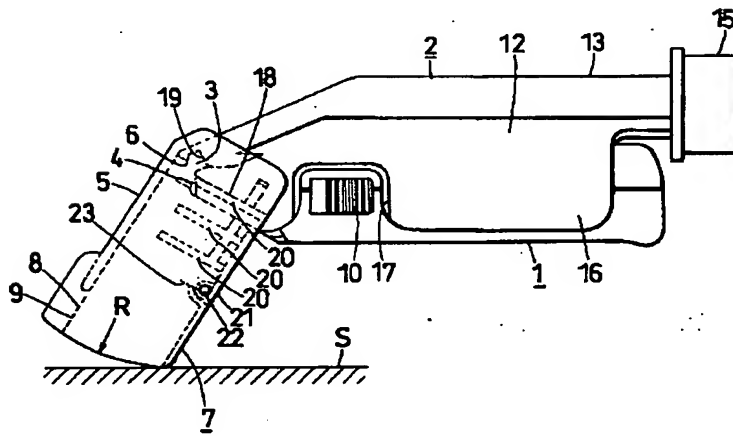
【図1】



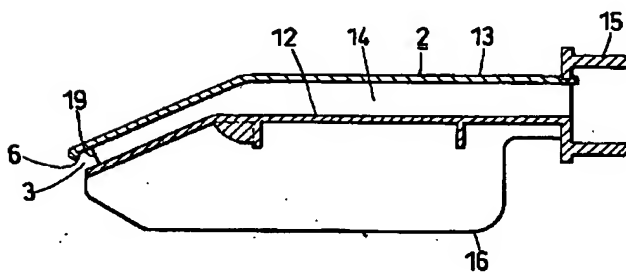
【図3】



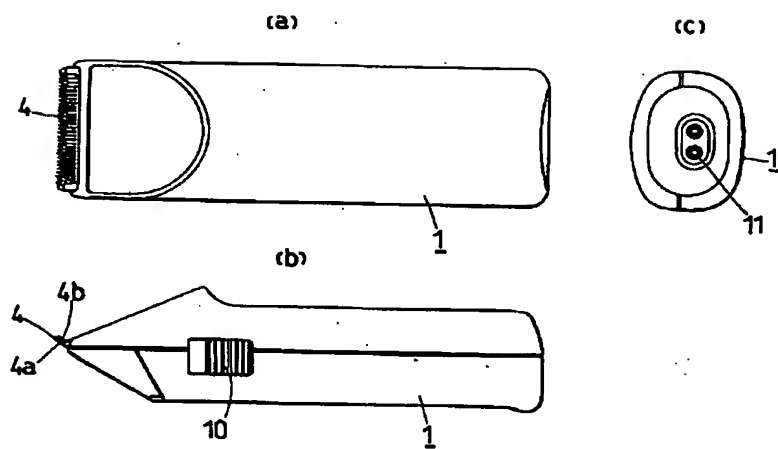
【図2】



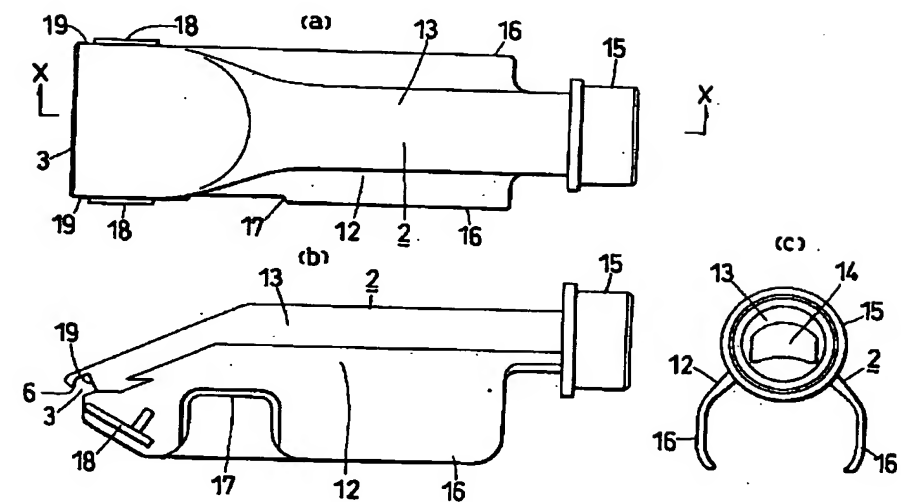
【図6】



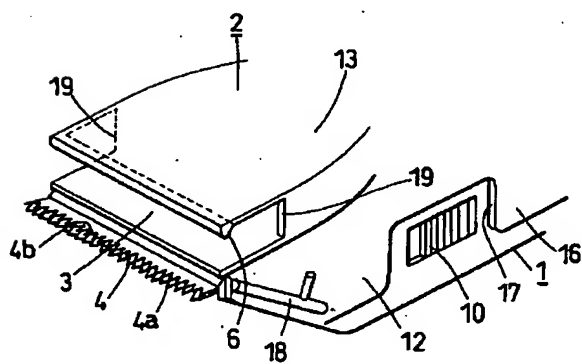
【図4】



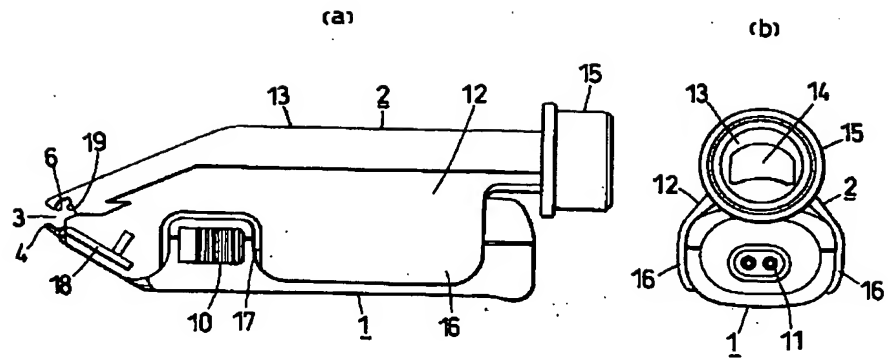
【図5】



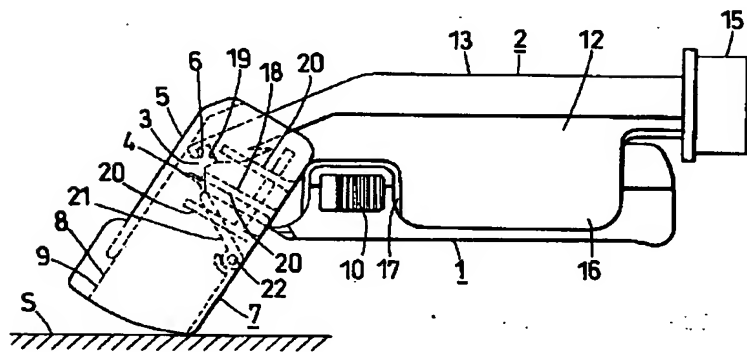
【図7】



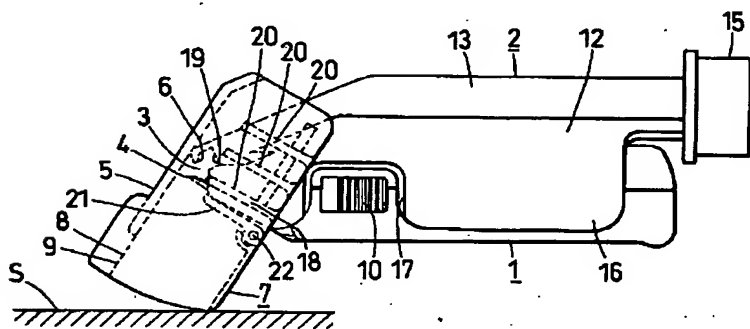
【図8】



【図9】



【図10】



【图 11】

